

2019年2月7日

**UACJが業績予想を下方修正——収益回復策の実効性を注視**

UACJ（証券コード：5741、発行体格付＝BBB）は6日、2019年3月期の業績予想を下方修正した。経常利益は従来予想の200億円から65億円に、当期純利益は100億円から15億円に減少、棚卸資産の評価影響を除いた実力ベースの経常利益も26億円に落ち込む見通しだ。半導体製造装置向け厚板など好採算品の需要減に加え、タイ事業の損益改善の遅れ、設備トラブルに伴う一過性コストの発生などが響く。

国内首位、世界トップクラスのアルミ圧延メーカーであるUACJは、日本、米国、タイに生産拠点をもち、グローバルに事業を展開する。2013年10月の経営統合による会社発足を機に、国内外で積極投資策を推進。2014年3月期以降、フリーキャッシュフローの赤字が続いており、2018年12月末の有利子負債は約3800億円に膨らんでいる。

グローバル展開の中核に位置付けるタイ事業の苦戦などが響き、全体の収益力の改善が遅れている。債務とキャッシュフローのバランスが格付に見劣りする状態が長引く懸念があることから、R&Iは2018年4月の見直しで、格付の方向性をネガティブに変更している。2019年3月期の利益・キャッシュフローはR&Iの想定を下回る。低迷した状態から脱せないようだと、格付への下方圧力は一段と強まる。

2020年3月期の業績回復に向けて、(1) 2019年3月期に生じた一過性コストの解消 (2) 米国自動車パネル用アルミ材合弁事業の解消による持分法投資損失の削減 (3) 米国子会社Tri-Arrows Aluminumでの能力増強と缶材の拡販 (4) タイ事業での新設備の立ち上げと拡販 (5) 国内でのロールマージン（圧延加工賃）の改善——などをUACJは検討している。これらの実効性を精査し、格付評価に反映していく。

主任格付アナリスト：鈴木 俊行

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。